

2026年3月2日

課題名：進行・再発大腸がん患者に対するパニツムマブ投与時間短縮法の安全性調査

◆研究の目的と概要◆

当院では、進行・再発大腸がん患者さんに対するパニツムマブの投与時間短縮法の安全性を調べています。本研究では、治療の安全性を示すことを目指し、今後のよりよい診療を行うことを目的としています。

◆対象となる患者さん◆

2019年1月から、2026年2月までの間に、パニツムマブを含むがん化学療法を開始された KRAS 遺伝子野生型の治癒切除不能な進行・再発結腸・直腸がんの方。

◆研究に使用される情報・試料◆

性別、治療開始時の年齢、BMI、喘息の既往、薬剤アレルギー歴、PS、治療回数、手術歴(原発巣切除の有無)、術後補助化学療法の有無、併用薬剤、Pmab 施行時の血清 Mg 値、eGFR、AST、ALT、併用レジメン、治療期間のパニツムマブの投与回数

◆試料・情報の研究利用開始日◆

2026年4月1日以降

◆研究方法◆

本研究は過去の診療録（カルテ）等からの情報を利用します。

-
- * 研究成果は学会等で発表を予定していますが、その際も患者さんを特定できる情報は利用しません。
 - * 本研究に関するお問い合わせや、カルテ情報の利用についてご了承いただけない場合、以下の問い合わせ先までメールでご連絡ください。ただし、解析中または、既に学会等で発表されたデータについては、削除できないことがありますことをご了承ください。

【問い合わせ先】

公益財団法人大原記念倉敷中央医療機構 倉敷中央病院

薬剤部 研究責任者 樋口 純一

E-mail： kenkyu★kchnet.or.jp（臨床研究センター）

（★を@に変換して使用してください）

この研究課題で利用する残余検体・診療情報等の利用については、医の倫理委員会によって当該既存試料を用いなければ研究の実施が困難であるとの理由が認められ、倫理的観点及び科学的観点から実施についての承認、また当院院長の許可が得られています。

※【問い合わせ先】では、次の事項について受け付けています。

- 研究計画書および研究の方法に関する資料の閲覧（又は入手）ならびにその方法（他の研究対象者の個人情報および知的財産の保護等に支障がない範囲内に限られます。）
- 研究対象者の個人情報についての開示およびその手続
- 研究対象者の個人情報についての利用目的の通知
- 研究対象者の個人情報の開示、訂正等、利用停止等について、請求に応じられない場合にはその理由の説明